

昭和52年度派遣前専門家等中期研修農林業
プロジェクトリーダー コース実施要領

国際協力事業団

1. 研修の目的

我が国の発展途上地域等に対する農林業技術分野の国際協力の円滑な実施に資するため、我が国の農林業技術専門家等に対し、海外における国際協力に必要な基礎知識、語学等について研修を行うものとする。

2. 研修場所 国際協力事業団語学研修室

(東京都新宿区市ヶ谷本村町42)
経済協力センタービル内

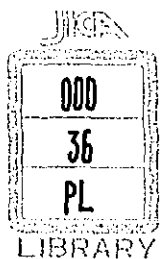
及びその他の施設

3. 研修期間 昭和52年5月16日から昭和52年7月27日
まで(73日間)

4. 定 員 15名

5. 研修課程及び日程

別紙のとおり一般研修・語学研修及び専門研修の区分により実施する。



52.7.27

6. 受講の資格

将采開発途上地域等における農林業協力事業に専門家等として派遣が予定される者で、かつ、農林業技術者としての能力を有すると認められる者であつて次の各号に該当するもの。

- (1) 年 令 おおむね 40 ~ 50 才
- (2) 学 歴 大学において農林業に関する課程を修めた者、又はこれと同等の専門的知識を有すると認められる者
- (3) 経 験 原則として 10 年以上の農林業に関する実務経験を有する者

7. 受講申込み

(1) 研修を受けようとする者（国家公務員は除く）は次により必要書類を添えて昭和52年4月30日までに事業団あてに申し込むこと。

ア. 申込み及び連絡先 国際協力事業団農林業計画調査部

電話 東京 03-346-5248

（担当者 安達）

4. 必要書類

- (ア) 研修申込書 別紙様式ノによるもの / 通
- (イ) 履 歴 書 市販の用紙B5判によるもの / 通
- (ウ) 写 真 3カ月以内に撮影の上半身無帽のもの / 枚
寸法：名刺半切（裏面に氏名記入のこと）

(2) 国家公務員の受講申込みについては

農林省農林経済局長（農林省のみ）および所属機関の長（農林省以外）

の推せん（別紙様式2）による

国際協力事業団	
受入 月日 '84. 5. 23	000
登録No. 07278	36
	PL

8. 必要経費の負担

受講に必要な経費の負担区分は次のとおりとする。

受講に必要な経費区分	民間企業・ 地方公務員等	国家公務員
(1) 勤務地または居住地（自学のみ） から研修場所までの往復旅費	卒業団負担	国 負 担
(2) 現地研修旅費	・	・
(3) 日当・宿泊費	・	・
(4) 教材費等	・	卒業団負担

JICA LIBRARY



1019192[2]

9. 修了証書の交付

卒業団は所定の研修課程を完了した者に対して修了証書を交付する。

様式 /

昭和 年 月 日

派遣前専門家等中期研修受講申込書

国際協力事業団
理事 村上 謙 殿

所属先

所属長氏名

印

下記のとおり派遣前専門家等中期研修を受けたいので、必要書類を添えて
申し込みします。

記

1. 研修コース名

2. 小 姓 名
氏 名

(大正 年 月 日生)
昭和

3. 現 住 所 〒

電話番号

4. 勤 務 先

電話番号

同上所在地

5. 専 門 技 術

(4)

様式 2

文書番号

年月日

国際協力事業団

理事 村上 謙 殿

農林省農林経済局長
または所屬機関の長

印

派遣前専門家等中期研修受講者の推せんについて

このことについて下記の者を適当と認め推せんする。

記

受講研修コース名 ()

氏名	年齢	所 属	所屬部課 係 名	最終卒業 学校名及び 卒業年次	採用 年次	専門分野	備 考 (番号等)

研修課程表

	科 目	時 間 数	割 合
一 般 研 修	経済協力の概要	2.5	24
	発展途上地域の一般概論	12.5	
	その他	4	
	小 計	24	
語 学 研 修	英語基礎会話	81.5	131
	英作文演習	18	
	英文レポート作成法	31.5	
	小 計	131	
専 門 研 修	農林業関係協力事業の概要	10	100
	農業開発調査及び評価	2.5	
	熱帯農業概論	12.5	
	各論	20	
	プロジェクトの運営管理	15	
	現地研修	30	
	その他	5	
小 計	100		
合 計		255	100

研修日程概要

項目	時期	5月			6月					7月				8月	備考
		才2週	才3週	才4週	才1週	才2週	才3週	才4週	才5週	才1週	才2週	才3週	才4週		
農林業プロジェクト リーダーコース 15名	開講式 5/6														
	10.00 ~10.55	語学研修			現 地 研 修 (扶 城 県 内 原 町 ほ か)	語学研修					現 地 研 修 (津 根 県)	語学研修		専 門 研 修 の 時 間 配 分 講 義 13.30~15.00 講 師 と の 討 論 15.10~16.00	
	11.05 ~12.00	語学研修				語学研修						語学研修			
	13.30 ~16.00	一般研修	専門研修			専門研修	語学研修	専門研修					語学研修		専門
16.05 ~17.00	国際協力映画等補講			国際協力映画等補講					国際協力 映画等補講						
	閉講式 7/27														

研修日程

項目 日数	年月日	曜日	午 前		午 後			備考
			10.00 ~ 10.55	11.05 ~ 12.00	13.30 ~ 16.00		16.05 ~ 17.00	
			講 義 式	諸 迎 賓	科 目	講 師 名	科 目	
	5.25	16	開 講 式	諸 迎 賓	英会話	英会話(クラス分け)		
		17	語 学 研 修	語 学 研 修	経済協力の概要	事業団の組織と機能・専門家の派遣制度	事業団技術管理課長	国際協力映画有補講
		18	・	・		国際協力の意義とその推移	事業団副総裁 久米 高	・
		19	・	・		わが国の経済技術協力	外務省経済協力局	・
		20	・	・	発展途上地域の一般概論	発展途上国の宗教と社会		
		21	・	・				
		22	・	・				
		23	・	・		発展途上国地域概論(アフリカ)	アジア経済研究所 安藤 勝 夫	・
		24	・	・		・ (中南米)	上智大学教授 アンドラーデ	・
		25	・	・	・ (東南アジア)	アジア経済研究所 今川 一 郎	・	
		26	・	・	・ (中近東)	法政大学教授 岩 永 博	・	
		27	・	・	熱帯農業概論	東南アジアにおける農村の構造	東京大学教授 高橋 彰	
		28	・	・				
		29	・	・	事業団協力の概要			
		30	・	・		農林業開発協力事業の基本的理念	農林省国際協力課長 岩瀬 道 生	・
		31	・	・		農業協力事業の現状(農業開発協力プロジェクト)	事業団	・
	6.	1	・	・	プロジェクト管理	ブラジル農業開発	事業団	・
		2	・	・		インドネシア農業開発	事業団	・
		3	・	・		プロジェクトリーダー		
		4	・	・	熱帯農業概論			
		5	・	・		熱帯農業概論	東京教育大学名誉教授 西川 五 郎	・
		6	・	・	熱帯農業			
		7	・	・		熱帯の土壌	農林省農業技術研究所 佐野 悟	・
		8	・	・	熱帯農業			
		9	・	・		熱帯の灌漑排水	東京大学名誉教授 堀 田 仁 志	・

期 日 次	年 月 日	曜 日	午 前		午 後			備 考	
			10.00~10.55	11.05~12.00	13.30~16.00		18.05~19.00		
			科 目		講 師 名	科 目			
52	8.10	金	} 現地研修 (茨城県内原町)	現地 研修					
53	11	上							
54	12	日							
55	13	月	語学研修	語学研修	熱 帯 農 業 各 論	熱帯の農業機械化	筑波大学教授 江崎 春雄	国際協力映画等研修	
56	14	火	“	“		乾燥地農業	九州大学教授 坂 智 男	“	
57	15	水	“	“		熱帯の稲作	農林省熱帯農業研究センター 顧問 山田 登	“	
58	16	木	“	“		熱帯の草本性作物	神戸大学教授 佐藤 寿	“	
59	17	金	“	“		“ 草本性作物	“	“	
60	18	土	“	“					
61	19	日			英 文 レ ポ ー ト 作 成 法				
62	20	月				英文レポート作成法			
63	21	火				“			
64	22	水				“			
65	23	木				“			
66	24	金			その他	中間エバレーション	農林省野菜園担当者		
67	25	土			熱 帯 農 業 各 論				
68	26	日							
69	27	月			熱 帯 農 業 各 論	熱帯の稲作	北海道大学名誉教授 石塚 喜明		
70	28	火				同発達上地域等における試験研究機関	農林省森林水産技術会課		
71	29	水			熱 帯 農 業 各 論	同発達上国の農業普及の現状と問題点	全国農業改良普及協会 藤田 康 樹		
72	30	木							
73	7/	金			フ ロ ジ エ ク ト の 運 営 管 理	インド普及センター			
74	7/	土				インドネシア			
75	2	日							
76	7/	月				ネパール			

項目 回数	年月日	曜 日	午前		午後			備 考
			10.00~10.55	11.05~12.00	13.30~16.00		16.05~12.00	
			語学研修	語学研修	科 目	講 師 名	科 目	
51	52. 2. 5	火	語学研修	語学研修	民間農業開発		国際協力映画等補講	
52	6	水	・	・	農業開発経済調査の実際		・	
53	7	木	・	・	農業開発調査の手法		・	
54	8	金	・	・	プロジェクト評価と其の方法		・	
55	9	土	・	・				
56	10	日						
57	11	月	現地研修(沖縄県)		現 地 研 修	熱帯農業に関する現地研修		
58	12	火						
59	13	水						
60	14	木						
61	15	金						
62	16	土						
63	17	日						
64	18	月	語学研修	語学研修	英文レポート作成演習		国際協力映画等補講	
65	19	火	・	・	・		・	
66	20	水	・	・	・		・	
67	21	木	・	・	・		・	
68	22	金	・	・	・		・	
69	23	土	・	・				
70	24	日						
71	25	月			管理 運 営	元プロジェクトリーダー・専任技士の討議		
72	26	火			その他	最終工パレージョン	農林省・手塚団担当者	
73	27	水	開 講 式					